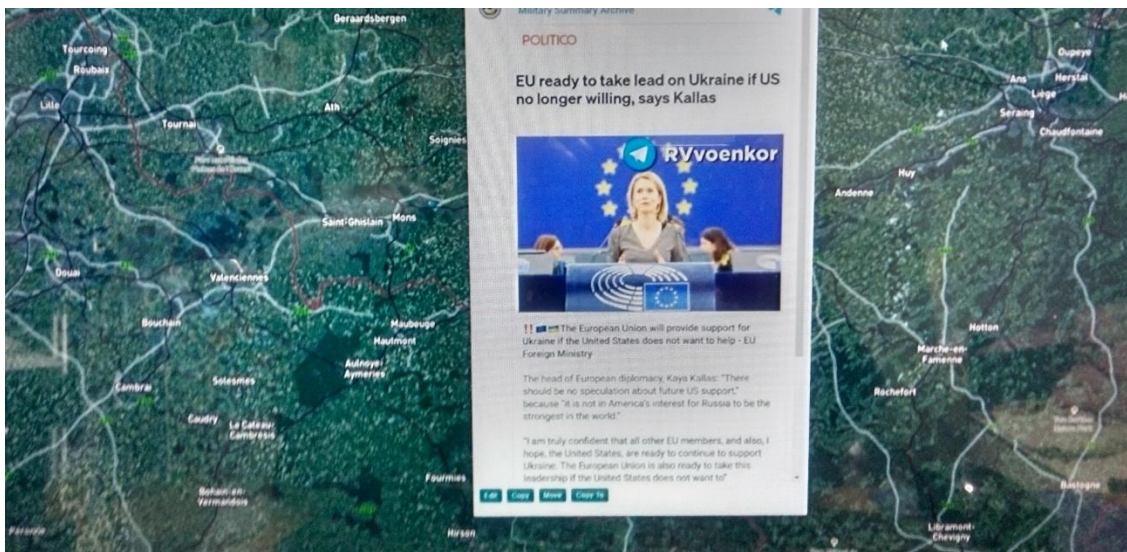


1月15日のウクライナ情報

安齋育郎

①ゼレンスキー、米国を脅迫 △ヴェリカ・ノヴォシルカの防衛は崩壊 ✕ 軍事概要 (2025年1月11日)

<https://youtu.be/7MxDh5qKVOw>



<https://www.youtube.com/watch?v=7MxDh5qKVOw>

②【ソロス氏こそ民主主義への脅威、マスク氏ではない=伊首相】(2025年1月11日)



実業家のイーロン・マスク氏は自分の考えを述べているだけであり、各国の政党や団体に資金援助して政権交代を促している投資家のジョージ・ソロス氏こそ民主主義への脅威である。イタリアのメローニ首相がメディアの取材で語った。

ドイツでは、保守政党「ドイツのための選択肢」を支持するマスク氏の発言が選挙干渉に当たるかどうかの検討が進められている。こうした中、メローニ首相はマスク氏を擁護した。

「マスクは自分の立場を主張しているだけで、それは私たちも同じ。誰でも好き嫌いあるでしょう。ですが、内政干渉の危険性があると言うのであれば、有名人や富裕層が意見を表明するのはこれが初めてではないと言えます」

そのうえで、政党や団体に資金提供するソロス氏こそ真の脅威だと発言した。

ソロス氏は資金投機により多くの国で政権交代を組織したとして繰り返し非難されている。ソロス氏自身、ウクライナでは2004年のオレンジ革命、2014年のマイダン革命に貢献したことを否定していない。様々な国でソロス氏は内政干渉の疑いで告発されている。

<https://sputniknews.jp/20250111/19489538.html>

③ ロシア産燃料への大規模制裁で世界の物価は更に高騰……バイデン氏から次期政権への置き土産(2025年1月11日)

米国はロシア産燃料に対する過去最大規模の制裁を発表したが、これにより米国を含むすべての国で燃料価格が上昇し、これは更なる政情不安定を引き起こす。

バイデン大統領はこの制裁でロシア経済にダメージを与えると豪語したが、ロシア側はすでに制裁回避の策を用意している。

ただし、制裁回避に伴いコストが上昇することから、燃料価格は上昇し、各国では政府に対する不満が相次ぎ、さらなる政権交代へとつながることは必至なようだ。

これにより、立つ鳥跡を濁すバイデン大統領は最悪の置き土産をトランプ次期大統領に用意した形となる。



<https://sputniknews.jp/20250111/19489311.html>

④ 【切り抜き 桜無門関 年末 SP】馬淵睦夫×水島総 年末対談「2025年、トランプ外交は世界をどう変えるのか？そして反トランプの日本は...(桜2025年1月1日)

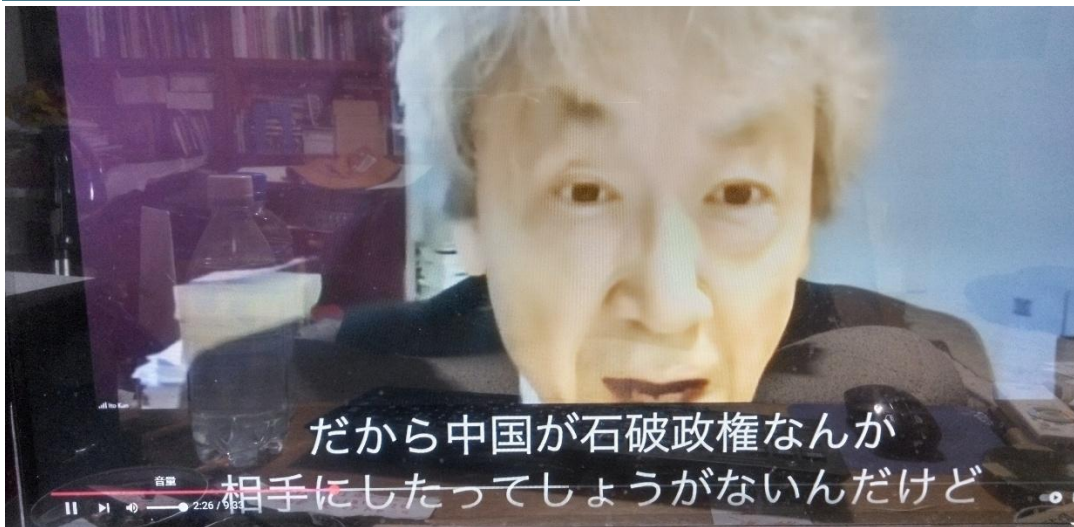
<https://youtu.be/rnMNOD-1Vus>



<https://www.youtube.com/watch?v=rnMNOD-1Vus>

⑤【切り抜き 真剣な雑談 年末 SP】伊藤貫×水島総「来年はどうなる？アメリカと世界」[桜2025年1月11日]

<https://youtu.be/EQvC7WRYXo0>



<https://www.youtube.com/watch?v=EQvC7WRYXo0>

⑥完全な狂気 - ウクライナの唯一の影響力は縮小し続ける |ゼレンスキー氏、NATO-ウクライナ最新情報を要請(2025年1月11日)

<https://youtu.be/ZXH0WO9Zjzs>



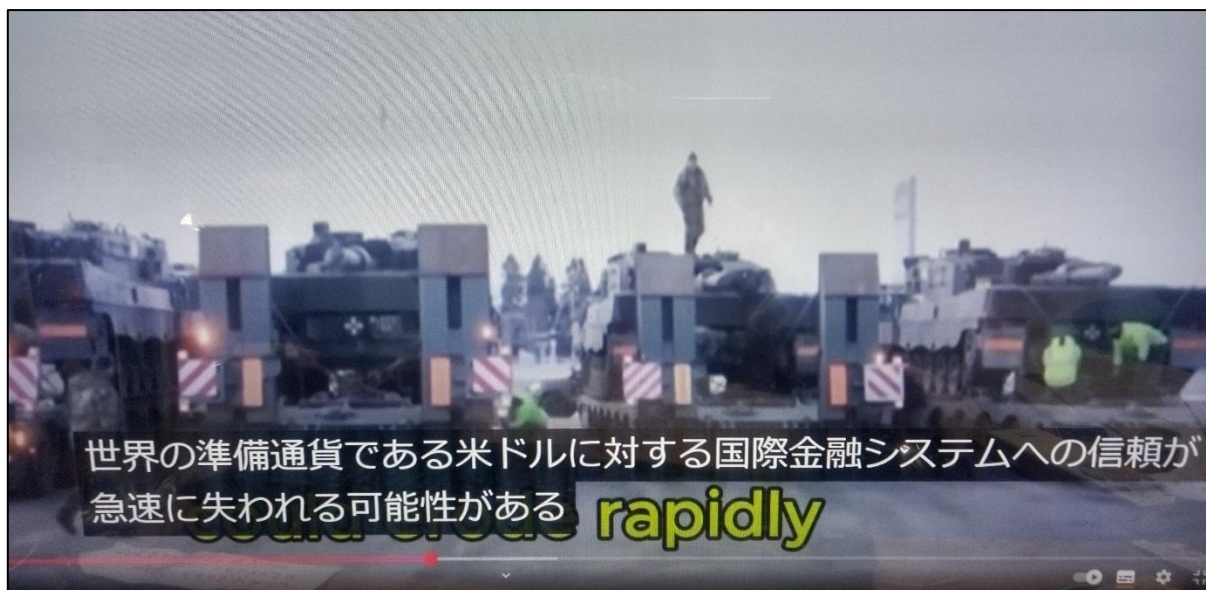
<https://www.youtube.com/watch?v=ZXH0WO9Zjzs>

⑦ スコット・リッター:NATOの3000億ドルの欺瞞 - ウクライナの戦争努力はロシアによって粉碎された！(2025年1月12日)

スコット・リッターがウクライナの3000億ドルという途方もない援助と資産の意味を解き明かす中、ゼレンスキーが最近レックス・フリードマンに語った衝撃的な暴露をご覧ください。ゼレンスキーの物議を醸した発言の劇的な影響、ドナルド・トランプへの大胆な提案、そして世界金融の安定に対する差し迫ったリスクを探ります。これはウクライナ、ロシア、そして世界にとって何を意味するのでしょうか

か？ 今すぐ視聴して、語られなかった物語を明らかにしましょう。

<https://youtu.be/tAGUxGY04Bw>

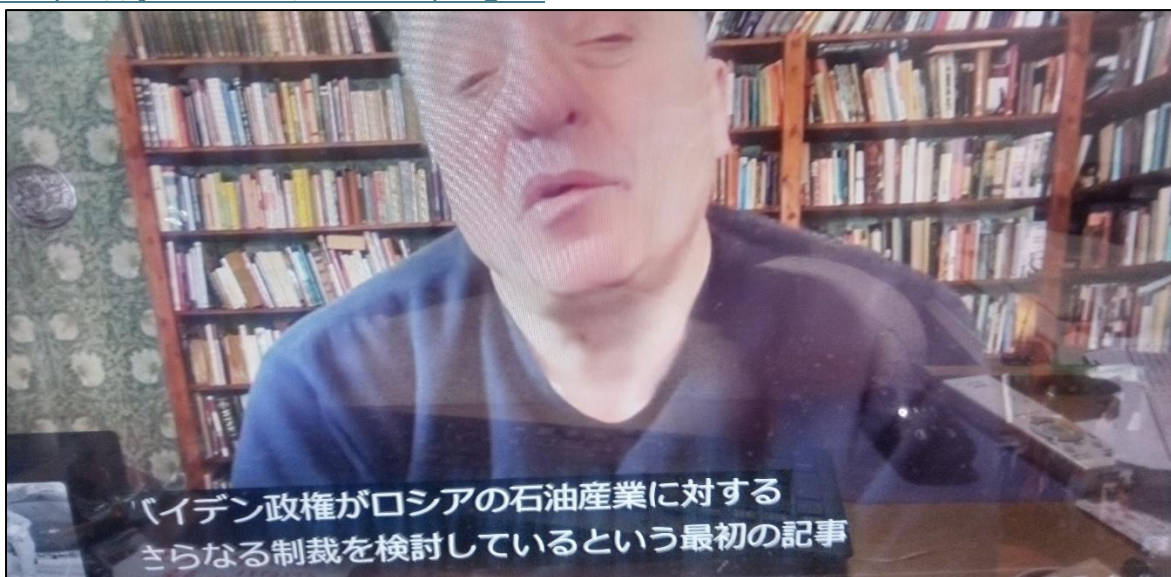


<https://www.youtube.com/watch?v=tAGUxGY04Bw>

⑧米国がロシアの石油に大規模な制裁、モスクワは肩をすくめる、バイデン氏「米国のガソリン価格は上昇する」、トランプ氏を標的に(2025年1月12日)

※安齋注:1時間17分もあるので、20分以降ぐらいから所々尾ご覧下さい。

https://youtu.be/PfP_84pwguk



https://www.youtube.com/watch?v=PfP_84pwguk

⑨ロシア、バイデン大統領退任前に米英の制裁を「混乱」と非難、影響はないと主張(2025年1月12日)

モスクワへの圧力を強める最後の手段として、ジョー・バイデン政権は英国とともに、200以上の

団体、大手エネルギー企業、幹部、183 隻の石油タンカーを標的とした、これまでで最も厳しい対ロシア制裁を発表した。ウクライナにおけるロシアの戦争努力を弱体化させることを目的としたこの措置は、クレムリンから厳しい批判を招いたが、キエフからはモスクワの金融およびサプライチェーンへの大きな打撃として賞賛された。

<https://youtu.be/blFj4zNVr0I>



<https://www.youtube.com/watch?v=blFj4zNVr0I>

⑩フィコはロシアがガス供給を約束したと述べる一方、抗議者たちはフィコがスロバキアをロシアに引きずり込んでいると主張(2025年1月12日)

<https://youtu.be/ID9W5LLUqqM>



スロバキアのロベルト・フィツォ首相は、ウクライナ経由の燃料供給の回復を目指しながらも、ロシアは今年、必要であれば国内消費を賄うガスを供給すると述べた。

ロシアは今年、ガス供給義務を果たす予定であるとフィツォ首相は金曜日、議会で議員らに語ったが、その方法については明らかにしなかった。

一方、スロバキアの首都では数千人の抗議者が横断幕を掲げ、フィツォ首相がスロバキアをロシアに引きずり込んでいると非難するスローガンを叫んだ。

昨年、ウクライナを通過したガスは約 135 億立方メートルで、そのうち約 30 億立方メートルガス

ロバキアの消費分だった。

EU は、ウクライナ経由の輸送契約を延長する必要はなく、ロシアのガスを受け取っている国々は代替供給を利用できると述べている。

<https://www.youtube.com/watch?v=ID9W5LIUqqM>

①独極右政党「AfD」の首相候補、「ノルドストリーム」再開を約束(2025年1月12日)

ドイツの右派政党「ドイツのための選択肢(AfD)」から首相候補に選出されたアリス・ヴァイデル氏は、議会選挙で勝利した場合、ガスパイプライン「ノルドストリーム」を再開させると約束した。独紙ヴェルトが報じた。

AfD は 11 日、共同議長のヴァイデル氏を首相候補に正式指名した。AfD は現在、世論調査で保守系連合「キリスト教民主・キリスト教社会同盟(CDU/CSU)」に次ぐ第 2 位となっており、政治情勢はヒートアップしている。

昨年 11 月上旬、ショルツ首相がウクライナ支援や自国の財政政策をめぐる意見の相違からリントナー財務相を更迭すると、ドイツは政権危機に直面した。こうした中でリントナー氏は、自身が党首を務める「自由民主党」を連立から離脱させたため、連立政権は崩壊した。

12 月中旬、連邦議会はショルツ首相に対する不信任決議を可決。シュタインマイヤー大統領は連邦議会の解散を正式に発表し、総選挙を 2025 年 2 月 23 日に実施することを決定した。

2022 年 9 月、ロシアからバルト海を経由して欧州に天然ガスを送る海底パイプライン「ノルドストリーム」が爆破された。2023 年 2 月、ピューリッツァー賞受賞の米記者、シーモア・ハーシュ氏は、爆破はノルウェーの支援を受けて米国が実行したと主張。同パイプラインを通じてロシアから天然ガスを受け取っているドイツが、ウクライナへの支援調達をしたがらなくなることを米政府が懸念したためだと指摘した。一方、米当局は関与を否定している。

